

平成 28 年度事業報告

一般社団法人化 4 年目、現運営体制と現事務所体制下では 2 年目を迎えた平成 28 年度の「一般社団法人 日本交通科学学会」の業務実績は、以下の通りである。

第一 会議の開催

1 第 52 回定期総会

平成 28 (2016) 年 6 月 18 日 (土)、東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス内 (東京都荒川区南千住 8-17-1) で開催された。

以下の議題について審議し、原案通り可決承認された。

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び収支決算の件

平成 27 年度事業報告書 (案)、同収支計算書 (案) 及び財務諸表 (案)、監事監査報告書をもって報告し、承認された。

※因みに次年度事業計画及び収支予算については、新定款では理事会決定事項とされており、総会では報告事項となっている。

第 2 号議案 賛助会員 (団体) から選出される理事の補充選任の件

本学会定款 第 13 条の (3) 及び 第 22 条に基づき、外部相談役であった下記 2 名の方の理事就任 (交替) が承認された。

安藤豊明氏 (損害保険料率算出機構)

木岡保雅氏 (一般財団法人 全日本交通安全協会)

第 3 号議案 次期 (第 53 回) 日本交通科学学会 総会・学術講演会長 選任の件

第 53 回 (平成 29 年度) 総会・学術講演会会長として、一杉正仁氏 (滋賀医科大学医学部 社会医学講座法医学 教授) が承認された。

第 4 号議案 会員異動の件

資料に基づき、平成 28 年度会員の異動状況が報告され、了承された。(平成 27 年度末の在籍は普通会員 376 名、学生会員 11 名、賛助会員 71 団体=計 458。入会 22 件、退会 1 件により、前年度+20。なおこの他、顧問 1 名の役職退任があった。)

2 理事会

(1) 第 127 回理事会 (第 52 回評議員会と合同開催) 6 月 17 日 (金)

会場: 首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス

- ・平成 27 年度事業報告と収支決算について審議
- ・平成 28 年度予算 (一部補正) について審議

(2) 第 128 回理事会 平成 29 (2017) 年 3 月 27 日 (月)

会場: A P 品川会議室

- ・平成 29 年度事業計画と予算案について

3 評議員会

- ・第 52 回評議員会 (前記第 127 回理事会と同所同日時にて合同開催)
(議題は第 127 回理事会と同一のため省略)

4 幹事会

- (1) 第7回幹事会 平成28年6月3日(金)開催(於 昭和大学病院会議室)
 - ・第127回理事会の審議内容について
- (2) 第8回幹事会 平成29年3月16日(木)開催(於 AP品川会議室)
 - ・第128回理事会の審議内容について

5 役員選考委員会

- ・平成27年の役員更改(任期2年)より経過1年のため、平成28年度は実施せず。

第二 調査・研究の実施

1 第52回総会・学術講演会開催(第52回定期総会と同時開催)

平成28年6月18日(土)～19日(日)、東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス内(東京都荒川区南千住8-17-1)で開催された。

2 研究部会・研究：助成研究

(1) 助成研究

- (一社)日本損害保険協会 自賠責運用益抛出 助成研究 [研究責任者：一杉正仁]
研究テーマ「体調変化に起因する事故を予防するためのモデル事業」平成26年度から3年継続

(2) 受託研究

- (一社)日本自動車工業会 委託研究

※双方の事務局担当者が交替したこともあり、従来の体制を一新して新たな委託研究契約について協議の末、以下5テーマを受託。年度末完了報告に向けて遂行中。

1. 剖検例を用いた高齢者と若年者の胸部損傷形態の比較(一杉 正仁 ほか)
2. 交通外傷・疾病先行による心肺停止事故はどこまで把握できるか(三宅 康史)
3. 自転車運転シミュレータを用いた高齢者の自転車運転行動における事故誘発リスクの研究
(水戸部 一孝)
4. 中高齢者の身体・精神機能低下における自動車運転への影響に関する研究(渡邊 裕)
5. 日本外傷データベースを用いた4輪自動車事故の病院前時間と治療成績に関する研究
(藤田 尚)

第三 啓発・広報事業の実施

1 第7回賛助会員懇談会 平成29年1月31日(火)開催

(於 首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス)

- ・講演1「認知機能と自動車運転」渡邊 修(東京慈恵会医科大学)
- ・講演2「認知症患者の自動車運転に関する責任について」馬場 美年子
(慶応義塾大学医学部総合医科学研究センター)
- ・懇談、意見交換

2 交通科学シンポジウム・交通科学安全セミナー

第12回交通科学シンポジウム 平成29(2017)年3月2日(木)開催(於 損保会館)
メインテーマ「体調変化による自動車事故を予防するために」

- ・講演「体調変化に起因するモデル事業の概略と成果」一杉 正仁(滋賀医科大学)
- ・シンポジウム
 - 1)「精神科通院患者に対する自動車運転指導とその効果」上村 修一(宇都宮西ヶ丘病院)

- 2) 「医薬品副作用報告からみた医薬品に起因する交通事故」木津 純子 (慶応義塾大学薬学部)
- 3) 「職業運転手の現状と事故予防対策ーバス交通機関での実態調査からー」福本 正勝
(社会福祉法人長岡福祉協会首都圏事業部)
- 4) 「職業運転者の体調起因事故における責任」馬場 美年子
(慶応義塾大学医学部総合医科学研究センター)

交通科学安全セミナーの開催は、見送られた(理事会等で、セミナーとシンポジウムの併合など今後のあり方についても意見があり、引き続き開催形態については検討を続行する予定としている)。

3 出版物の発行

* 日本交通科学学会誌 2016 Vol.16

- ・ 第 16 巻特別号：第 52 回総会・学術講演会講演集 (6 月 18 日発行)
- ・ No.1 (1 月 31 日発行)
- ・ No.2 (3 月 31 日発行)

* その他、研究報告書

4 学会ホームページの運用

- ・ 催事情報などについてアップデート。
- ・ 法人名称など内容の未修正・不備について引き続き修正作業中。
- ・ ホームページからの入会申し込みや学術論文開示 (J-STAGE) への対応を、引き続き検討・推進中。

以上